

焼津水産高校との産学包括提携協定の締結 および『静岡県教育応援基金』への寄付実施のお知らせ ～調印式および、寄付感謝状授与式のご案内～

はごろもフーズ株式会社(本社:静岡県静岡市 社長:後藤佐恵子、以下「当社」と、静岡県立焼津水産高等学校(静岡県焼津市、以下「焼水高」)は、専門高校における次世代の社会や産業を担う優れた人材育成を目的に、産学包括連携協定および静岡県教育委員会(以下「県教委」)が設置する『静岡県教育応援基金』への寄付実施について同意しました。

1. 産学包括連携協定の目的

近年テクノロジーの進歩で日本の産業は大きな変革を遂げていますが、産業界の人材を支えてきた静岡県内の専門高校の施設等が老朽化し、環境変化への対応が難しくなっています。

このような状況を打開するため、今回、県教委では、国内でも有数の水産高校である焼水高をモデル校として、その施設・設備などを刷新し、次世代の社会や水産業を担う優れた人材育成を目指すため、産学官3者が協力するスキームを構築しました。

当社は、県教委から上記の提案を受け、その趣旨に賛同するとともに、当社としても将来的に専門的な技能を修得した人材が確保しやすくなることや、当社職員の人材育成を促進できることを想定し、本スキームに協力することを決定しました。

2. 産学包括連携協定の内容

(1)将来的に地元社会や産業を担う優秀な人材の育成のため、焼水高と当社が協力し、次の3つのテーマに取り組む。

①海洋環境の再生と循環型経営の推進

②実習環境の高度化と水産エキスパートの育成

③産学連携による「水産みらい」の創生

具体的な連携事業は、両者から選出した連携委員会(当社の責任者は望月浩志常務取締役を予定)により検討・実施する。

(2)期間は2026年度から5年間とし、その費用の一部は【次項3.】に記載の基金から拠出することができる。なお、当社との連携事業に関しては、①缶詰等の製造指導、②製品開発の指導、③新製品などの共同開発、④生産管理・品質管理等の指導、⑤生徒の当社プラントや施設見学、⑥インターシップの実施、⑦マーケティングの学習、⑧地域イベントへの共同企画・参加、⑨出前講演会などが想定される。

3. 『静岡県教育応援基金』への寄付について

当社は、県教委が設置する『静岡県教育応援基金』に3月31日までに50百万円を寄付(拠出)しました。焼水高の老朽化した施設・設備等の改修・整備を中心に基金が活用されます。

4. 調印式・寄付感謝状授与式について

包括連携協定の調印式を執り行います。あわせて『静岡県教育応援基金』への支援に対し、静岡県知事より感謝状が授与される運びとなりました。つきましては、産学包括連携協定の調印式および『静岡県教育応援基金』への寄付感謝状の授与式を次のとおり執り行います。

- (1)開 催 日: 4月28日(火) 午前9時から30分程度
- (2)会 場: 静岡県庁西館7階教育長室
- (3)出 席 者: 静岡県教育長 前澤綾子様
焼津水産高等学校 校長 沼里智彦様
はごろもフーズ株式会社 代表取締役社長 後藤佐恵子 ほか
- (4)内 容: 産学包括連携協定への調印、教育長から知事感謝状授与、写真撮影など
- (5)本調印式・感謝状授与式の取材についての問い合わせ先:
はごろもフーズ株式会社 企画部 広報担当 牧田 (TEL:054-288-5208)

5. 当社と焼津水産高等学校との関わり

焼水高は、昭和4年(1929年)にツナ缶を日本で初めて製造した「焼津水産学校」が前身となり設立した高等学校であり、ツナ缶と同校は切っても切れない関係にあります。

当社の従業員のうち焼水高出身者は50名を超え、ほぼ毎年同校から従業員を採用しており、海外を含む生産部門の中核として活躍しています。当社では高校生の採用に関して、原則として入社すると同時に東洋食品工業短期大学へ留学することを採用の条件としており、専門的な知識を習得し、安全・安心な製品の安定的な供給を可能とする、強靱な生産体制を構築することを目的としています。

【本件のお問合せ先】

報道関係の皆様: はごろもフーズ(株) 企画部 TEL 054-288-5208 担当 牧田
ホームページ <https://www.hagoromofoods.co.jp/>